

## 電気自動車(EV)に関する取り組み

### 背景

○沖縄は以下の理由で電気自動車の普及に適した場所だとされている。

1. 小さな島なので車で移動距離が短い
2. 年間を通して温暖な気候であるため、電池が長持ちする

○電気自動車の整備はディーラーでのみ可能なため、EVの普及に対し、既存の県内自動車整備工場(約1,000社)は危機感を募らせている。

○電気自動車は経済波及効果の大きな製品である。

### 取り組みの内容

#### ①マイクロEVの試作

FRP製のボディ、アルミサッシを活用したシャーシ、各種部品の取り付けブラケットなど、出来るだけ県産品を使うことを目標に製作した。人材育成事業の課題として取り組んだ。



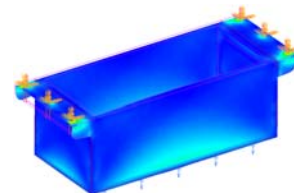
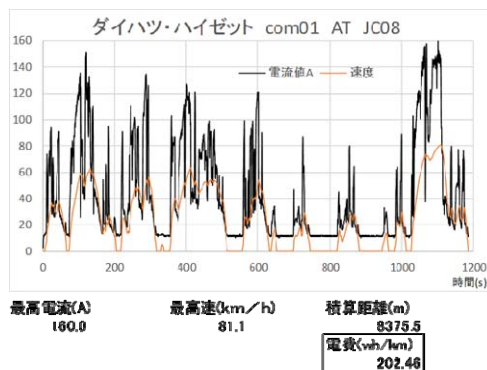
マイクロEV

#### ②EVに関する評価技術の確立

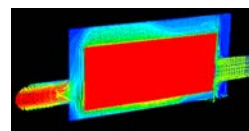
シャーシダイナモを使ってEVの動力性能(馬力やトルク、燃費)を評価する手法や、バッテリーの充放電特性の評価手法、バッテリーボックスの剛性や温度分布の評価手法の確立を図る。



動力性能の評価試験



バッテリーBOXの剛性評価



バッテリーBOX内の温度分布

#### ③実用化を目指して

マイクロEVよりも低コストでの製作が可能なコンバートEVの実用化を目指し、(社)ものづくりネットワーク沖縄で行っている車両試作へ技術支援を行っている。



コンバートEV



うるま市EVコミュニティ事業